

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.10.24

1,2年生用 秋号

昨年より厳しい今年の就職戦線



10月21日現在、本校の就職希望者の状況は自営業等内定5名、合格者39名、未内定者31名という状況です。今年は3月の東日本大震災の影響と、アメリカ、ヨーロッパの景気の悪化により昨年以上に厳しい求人状況です。すでにほとんど内定している学校もある中で、本校はこれからもう一度1校分の仕切り直しです。二次の求人が少ない中でどこまで未定者が合格にたどり着けるのか、今後の心配です。今年の就職試験の主たる特徴をまとめてみましょう。

基礎学力不足で不合格

最近一層基礎学力重視の傾向が強まっています。簡単な四則演算や漢字の書き取りが出来ない、作文が幼稚で不合格になった生徒もいます。日ごろからの努力がものをいいます。元気の無い生徒が不合格(運動クラブ所属者が望まれることが多い)

企業は元気でガッツのある生徒を求めています。真面目でおとなしいだけの生徒はダメ。中堅企業の要求水準が上がり将来のリーダー的存在となる生徒を求めてきた

世界的競争激化の中で、将来会社を引っ張って行かれるようなタイプの生徒が求められています。成績上位者数名がこの理由で不合格になりました。

欠席日数の多いものは不利

欠席が3年間で15日以上の子は極めて不利です。過去の欠席は取り返しが付きません。成績上位者大手企業を受験し不合格者多い。下位者他校の行かない小規模会社を選び合格者多い。成績上位者は大手企業を希望し他校との競争に敗れる例が多くありました。大手企業をねらうと競争が激しく簡単に入れない現実を肝に銘じて欲しいものです。

工業科の生徒を希望する会社多い

工業科の生徒が欲しいといわれる企業が多くあります。しかし工業科でも力がなければ合格できません。

女子の求人及びサービス業の求人が少ない

女子の求人が少なく、かなり苦勞をしています。女子の人は覚悟を。サービス業希望者も多いですが現実ほとんどが製造業です。普通科の生徒は心してください。

今年は卒業式までに全員の就職が決まらない可能性が高いように感じています。1,2年生の皆さんにとってはまだ人ごとと感じているでしょうが、ここ数年の内に日本の経済が好転しそうにはありません。毎年そうですが何とかなるだろうと安易に考えている人が多いですが現実そんなに生易しいものではありません。「後の後悔先に立たず」「転ばぬ先の杖」を忘れずに。

就職を考えている人は、他校との競争に勝ち抜ける基礎学力をきちんと付けておかないといけません。また学校として中途半端な生徒はこの厳しい今の世の中で就職の保証は出来ません。

皆さんはまだ先のことではなく、普段から進路を意識した生活を心がけましょう。



進学者は学校研究や、将来の職業を意識した進路選択を

進学はしたいが何をしたいか分からない人も少なくないでしょう。ただ夢を追いかけるだけではなく将来の就職を意識し、学校選択や進路分野を検討しましょう。進学してもなかなか就職が出来ない今の世の中です。学校の資料を取り寄せたりし学校研究をしてください。また進学にはお金もかかります。親とも早い段階から相談しておきましょう。